

科目名		成人看護学援助論Ⅳ(内部環境調節、生体防御、性生殖・乳腺)			
教育内容	専門分野 成人看護学	履修年次	2年次	履修時期	8月～12月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	認定看護師 専任教員、看護師	実務経験	成人看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	内部環境調節、生体防御・免疫、性・生殖・乳腺機能障害をもつ成人期の対象を理解し、健康レベル・経過に応じた看護を実践できる基礎的能力を養う。				
学習目標	1. 内部環境調節、生体防御・免疫、性・生殖・乳腺機能障害をもつ人の症状・障害のアセスメント、検査・治療・処置とその看護が理解できる。 2. 内部環境調節、生体防御・免疫、性・生殖・乳腺機能障害をもつ人の病期や機能障害に応じた看護が理解できる。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	単元：内部環境調節機能障害をもつ人の看護 担当：専任教員 又は 実務経験のある看護師 ※ 講義のガイダンス 1. 症状・障害のアセスメントと看護 体液量・電解質調節機能障害、畜尿・排尿機能障害(浮腫、高血圧、頻尿、残尿、尿閉、血尿、尿失禁、疼痛) 甲状腺機能障害、副腎機能障害、下垂体機能障害(るい瘦、体重増加、容貌の変化、循環器症状、神経・筋症状) 2. 検査と看護 腎生検、尿検査、静脈性尿路造影、尿流動態検査、残尿測定 膀胱鏡、ホルモン血中・尿中濃度測定、ホルモン負荷試験 3. 治療・処置と看護 カテーテル留置(膀胱、腎・膀胱瘻)、透析療法(腹膜、血液) 急性期持続血液濾過透析、手術療法(腎移植、碎石術、甲状腺切除術) 薬物療法、食事療法、甲状腺ホルモン療法 4. 病期や機能障害に応じた看護 共通内容 ● 症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント ● 症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助 ● 生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助 ● 合併症の早期発見と早期対処 ● 症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助 ● 危機的状況や不安に対する心理的援助 ● 手術を受ける患者の看護：術前のアセスメント、合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助 1) 急性腎不全 2) 慢性腎不全・慢性腎臓病 3) 腎臓移植術 4) 腎・尿路結石 5) 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症・低下症) 6) 腫瘍(甲状腺がん・下垂体腫瘍) 1)～6)の病期や機能障害に応じた看護を7回の講義に分けて説明する。 また、該当する内容1～3を含めて説明する。			※5回に共通 講義 ペアワーク グループワーク 医療機器、シミュレーション教材を用いた学習
6	単元：生体防御機能・免疫機能障害をもつ人の看護 担当：がん化学療法認定看護師 ※ 講義のガイダンス 1. 症状・障害のアセスメントと看護 骨髄機能障害(貧血、出血傾向、白血球減少に伴う症状) GVHD(急性・慢性) 皮膚粘膜障害(皮疹、粘膜症状) 免疫機能障害(関節痛・関節炎、レイノー現象、発熱、筋症状) 2. 検査と看護 骨髄検査、血液検査、血清・免疫学的検査			※6回に共通 講義 ペアワーク グループワーク 医療機器、シミュレーション教材を用いた学習	

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

	回	授業内容	授業方法		
授業計画	7	3. 治療・処置と看護 造血幹細胞移植、輸血療法、がん化学療法、放射線療法 クリーンルームの管理 薬物療法(非ステロイド性抗炎症薬、副腎皮質ステロイド、免疫抑制薬 抗リウマチ薬)、抗ヒト免疫不全ウイルス<HIV>療法			
	8	4. 病期や機能障害に応じた看護			
	9	共通内容 ● 症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント ● 症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助 ● 生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助 ● 合併症の早期発見と早期対処 ● 症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助 ● 危機的状況や不安に対する心理的援助 ● 手術を受ける患者の看護:術前のアセスメント、合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助			
	10	1) 血液悪性疾患(白血病・骨髄腫) 2) 造血幹細胞移植を受ける患者の看護 3) 自己免疫疾患(関節リウマチ・SLE) 4) ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症 1)~4)の病期や機能障害に応じた看護を6回の講義に分けて説明する。 また、該当する内容1~3を含めて説明する。			
	11	単元:性・生殖・乳腺機能障害をもつ人の看護 担当:乳がん認定看護師 ※ 講義のガイダンス 1. 症状・障害のアセスメントと看護 性・生殖機能障害(ショック状態、性器出血、帯下・掻痒感、疼痛、リンパ浮腫、下腹部膨満・腫瘤感) ホルモン欠落症状(自律神経失調症・不定愁訴、月経異常、更年期障害)		※3回に共通講義 ペアワーク グループワーク 医療機器、シミュレーション教材を用いた学習	
	12	2. 検査と看護 内診、細胞診、組織診、ヒトパピローマウイルス(HPV)検査 腹部・経膈・乳房超音波検査、マンモグラフィー			
	13	3. 治療・処置と看護 薬物療法(ホルモン)、放射線療法、手術療法 リマンマ製品、機能訓練			
	14	4. 病期や機能障害に応じた看護 共通内容 ● 症状、障害の程度と生命・生活への影響のアセスメント ● 症状、障害によってもたらされる身体症状の改善に向けた援助 ● 生命の危機状態に対する治療・処置時の援助、検査時の援助 ● 合併症の早期発見と早期対処 ● 症状悪化予防に向けた自己管理と社会復帰に向けた援助 ● 危機的状況や不安、ボディイメージの変化に対する心理的援助 ● 手術を受ける患者の看護:術前のアセスメント、合併症の早期発見と予防、手術に伴う苦痛の緩和、セルフケア習得に向けた援助			
	15	1) 女性生殖器の疾患(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫) 2) 女性生殖器の腫瘍(子宮体がん、子宮頸がん、卵巣がん) 3) 乳がん 1)~4)の病期や機能障害に応じた看護を7回の講義に分けて説明する。 また、該当する内容1~3を含めて説明する。			
		15		試験	
	使用教材			単元 内部環境調節: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 医学書院 単元 生体防御・免疫: 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学④ 血液・造血器 医学書院 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学⑪ アレルギー・膠原病・感染症 医学書院 単元 性・生殖・乳腺機能: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑨ 女性生殖器 医学書院	
	参考文献			看護過程に沿った病態生理と看護のポイント 対象看護 学研 他	
	成績評価の方法			筆記試験80%、授業態度(グループワーク等参加姿勢・課題学習の取り組み)20%	